

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 在宅医療導入後の日常生活動作の変化についての検討

【研究の概要】

研究の目的

すでに追跡研究が終了している高齢者前向きコホート研究(EMPOWER-Japan study)のデータを利用して、新規に訪問診療を導入することで、どのようにADL(日常生活動作の自立度)が変化するかを調査し、また、どのような個人の因子や生活背景がADLに影響を及ぼすのかを明らかにする。

研究期間

承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

研究解析機関：慈恵大学医学部附属病院

研究調査機関：医療福祉生協連家庭医療学開発センターを中心としたプライマリケアの臨床研究ネットワークであるCentre for Family Medicine Development - Practice-Based Research

Network(CFMD-PBRN)に所属する東京近郊の13か所の在宅療養支援診療所及び在宅療養支援病院

対象となる方：2013年2月1日～2017年1月31日までの期間に上記研究機関で訪問診療を新たに導入された65歳以上の高齢者(すでに追跡は終了している)

研究に利用する試料、情報等

試料：診療録

情報：性別、年齢、基礎・併存疾患、内服薬剤の数、介護保険導入の有無及び介護度、日常生活動作(ADL)、抑うつ状態、認知機能、癌の有無、家族構成、医療サービス受療状況、介護サービス利用状況、訪問診療導入前の医療を受けていた場所

他の機関(検査会社等含む)へ試料や情報等を提供する方法

本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：東京慈恵会医科大学

研究責任者：東京慈恵会医科大学 臨床疫学研究部 教授 松島雅人

提供方法：研究責任者および研究分担者に提供する

【問い合わせ先(対応時間：平日 09:00～17:00)】

東京慈恵会医科大学 臨床疫学研究部

研究代表者：日向 佑樹(ひなた ゆうき)

電話：03-3433-1111(内線：2399)

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。